

EP8000 POWER6 520/550 ファームウェア変更内容と来歴

	変更内容
EL350_166	<p>Impact: Availability Severity: HIPER</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HVMC でパーティションを削除する際、エラーコード 0x4000E002 とメッセージ“insufficient memory for PHY”が表示され、削除が失敗する問題を修正しました。 ・ HVMC でパーティションを削除した後、HVMC 上でシステムが“incomplete”状態となる問題を修正しました。 ・ HVMC により管理されるシステムで、パーティション作成に失敗した場合、ハイパーバイザが整合性のない状態になる問題を修正しました。 ・ HVMC により管理されるシステムで、ハイパーバイザが応答しなくなり、システムが HVMC 上で “incomplete”状態になる問題を修正しました。 ・ HVMC とサービスプロセッサ間の通信にかかわる、複数のセキュリティ脆弱性の問題を修正しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡張装置 (THE-7000FC5802 または THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているサーバの起動中に、サーバがハングアップする問題を修正しました。この事象が発生すると、サーバは起動できません。 ・ 拡張装置 (THE-7000FC5802 または THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、I/O ドロウの電源ユニットの障害が、電源ユニットのマイクロリセットや電源ユニットの交換で回復したにもかかわらず、障害を報告し続ける問題を修正しました。 ・ 拡張装置 (THE-7000FC5802 または THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、I/O ドロウの電源電圧レベルの異常をエラー報告せず、電源の冗長性が失われたことを検知できない問題を修正しました。 ・ 拡張装置 (THE-7000FC5802 または THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) に搭載した PCI アダプタを Virtual I/O Server (VIOS)に割り当て、さらに装置本体に搭載した I/O アダプタを VIOS に割り当てたシステムで、システムがエラーコード B700F103 でクラッシュする問題を修正しました。 ・ Live Partition Mobility (LPM)を実行しているシステムで、メモリリークにより、run time abstraction service (RTAS)が、エラーコード 0c20 でパーティションランタイムの AIX のクラッシュを引き起こす問題を修正しました。 ・ Live Partition Mobility (LPM)を実行しているシステムで、以下の手順を実行するとパーティションがクラッシュする問題を修正しました。 [手順] 1. パーティションに 1 以上の dedicated のプロセッサを割り当て、使用させる 2. LPM を使用して、POWER6 から POWER7 へパーティションを移動させる 3. 移動後、Dynamic Logical Partitioning (DLPAR)操作を使用して、1 以上 dedicated のプロセッサを削除する。 4. LPM を使用して、別のプラットフォームへパーティションを移動させる。または hibernation 機能によりパーティションを再開させる。 ・ Live Partition Mobility (LPM)により POWER6 から POWER7 への移動が成功した後、POWER7 システム上で、AIX コマンド“uname -m”の出力がおかしくなる問題を修正しました。 ・ Virtual I/O Server (VIOS) 2.2.2.0 以降のシステムへパーティションの移動を行っている間、移動されるパーティションがリポートする問題を修正しました。また、これより古い VIOS バージョンのシステムへ移動する場合、手動でパーティションのリポートをする必要があり、移動のリカバリも必要になる場合があります。 ・ 共有プロセッサを使用するパーティションがあるシステムで、I/O デバイスの応答が遅延したり、タイムアウトしたりする可能性がある問題を修正しました。 ・ Active Memory Sharing (AMS)プールのサイズを減らす操作による、logical memory block (LMB)の内容の再配置中に、メモリに回復不能なエラーが起きると、予測不能な動作をする可能性がある問題を修正しました。 ・ Distributed Host Control Protocol (DHCP)により、動的に IP アドレスを割り当てているシス

	<p>テムで、DHCP クライアントプロセスが新しい IP アドレスの割り当てを失敗したとき、通信がハングアップする問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数のブートパーティションを持つディスクデバイスがあるシステムで、System Management Services (SMS) で 1 つのブートパーティションしか表示しない問題を修正しました。 ブートできるデバイスが多数あるパーティションで、ブートが失敗し、エラーコード BA210000 が記録される問題を修正しました。 仮想ファイバチャネルテープドライブからのブートが、エラーコード B2008105 で失敗する問題を修正しました。 AIX を使用しているシステムで、InfiniBand Host Channel Adapter (HCA) が障害、または機能低下している場合、AIX が強制終了する問題を修正しました。
EL350_118	<p>Impact: Availability Severity: HIPER</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源を OFF/ON 後の再起動時にシステムが停止する問題を修正しました。 ASMI で、System Information option の HMC オプションが選択されたとき、“IPL: 500 - Internal Server Error”メッセージが表示される問題を修正しました。 サービスプロセッサまたはその電池を交換後に、システムパーティションの日付が 1969 年に戻る問題を修正しました。これは、ASMI でサービスプロセッサの TOD クロックを正しく設定しても発生します。 4096 以上の仮想スロットを持つパーティションで、移動操作ができない問題を修正しました。 システム電源オフ中に、ASMI の power off/on メニューを設定変更したとき、“500 - Internal Server Error.”メッセージが表示される問題を修正しました。 サービスプロセッサの power off またはリセット後に、サービスプロセッサにアクセスできない状態になる問題を修正しました。問題が発生した場合、SRC B160B73F 、 B1813410 が取られ、サービスプロセッサのダンプが生成されます。 パーティション I D: 1 において、VIOS の VLAN (virtual LANs) が SMS メニューの“bootable devices”として表示されない問題を改良しました。 HMC が、ASMI メニューを使用中に継続して繋がらない問題を改良しました。 サービスプロセッサの時刻が早い時間に合わせられたとき、タイマー起動機能によるシステム電源オン時間が正しく設定されない問題を修正しました。この問題は、例えば、秋に夏時間が終了し、時計が元に戻されると発生する可能性があります。 サービスプロセッサファームウェア障害のいくつかのエラーログエントリで重要度が“predictive”のものを誤って“informational”としてしまう問題を修正しました。 ASMI 上で HMC2 のポートの IP アドレスが、“dynamic”でなく初期設定値の“static”に誤って戻る問題を修正しました。 SRC B181EF7C で、ファームウェアインストールが失敗する問題を修正しました。 DLPAR (dynamic LPAR) オペレーションで、プロセッサリソースが他のパーティションに移動できない問題を修正しました。 パーティションがブートできない問題を修正しました。 ファームウェアで、HMC GUI のパーティションプロファイルでアダプタ情報を表示するときの接続デバイスリストを改良しました。 p6 から p7 パーティションへの移行が成功した後でターゲットパーティションがクラッシュする問題を修正しました。可能性のある AIX エラーログエントリは以下の通りです：ラベル：DSI_PROC, リソース：SYSVMM, 表示：“DATA STORAGE INTERRUPT, PROCESSOR”. 他にもパーティション関連のクラッシュログが記録されるかもしれません。 パーティション移行が成功した後で AIX エラーログがエントリされる問題を修正しました。可能性ある AIX エラーログエントリは以下の通りです：ラベル：RTAS_ERROR, リソース：sysplanar0, 表示：“INTERNAL ERROR CODE”. 他にもエラーが記録されるかもしれません。 リブートを行わずに、パーティションのマイグレーションを数回行った場合に、SRC BA330002 が採取されてパーティションがクラッシュする問題を修正しました。 AIX エラーログで複数の DR_DMA_MIGRATE_FAIL が取られる問題を修正しました。 パーティション移行またはパーティション休止のオペレーションで、パーティションが“suspending”状態のままハングアップする問題を修正しました。 SRC B1768B76 のログを“unrecoverable”の代わりに“informational”に変更するファームウェアの改良をしました。 SRC:B181D30B を予測(predictive)ではなく、情報(informational)として記録するように修正しました。 ハイパーバイザが、サービスプロセッサに対して連続的に reset/reload の要求を発行し続ける問題を修正しました。

一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更

- ・ HMC で管理されたシステムで、HMC からのファームウェアインストールで、“do not auto accept” オプションの選択ができない問題を修正しました。
- ・ COD (capacity on demand) 機能を使った 8204-E8A システムで、Activation_Code の Sequence_Number が特定の値に達したとき、ハイパーバイザが正しい使用時間をクレジットしない問題を修正しました。
- ・ I/O ドロワ (FC 5802)が接続され AMS(Active Memory Sharing)が稼働しているシステムで、ウォームブートまたは IPL プラットホームダンプ後に、SRC B170E540 を採取しシステムがクラッシュする問題を修正しました。
- ・ 外付け I/O ドロワ接続システムで、SRC 10001B02、1000911C で ASSIST 通報するようにファームウェアを改良しました。
- ・ 外付けインフィニバンドまたは PCI-E ドロワを使用したシステムで、I/O ハブアダプタの外付けドロワがイニシャライズ中にクラッシュした場合、SRC B7000103 でシステムクラッシュする問題を修正しました。
- ・ VIOS 稼働システムが、SRC B700F103 でシステムクラッシュする問題を修正しました。
- ・ shared processor partitions が稼働するシステムで、パーティションがハングアップする問題を修正しました。この問題は電源 OFF/ON まで回復しません。
- ・ LHEA (logical host Ethernet adapter) ポートを使ったシステムで、LPORT (LHEA logical port) を使ったパーティションをアクテベーションすると、HMC がシステムの状態を“Incomplete”と示し、C2008104 でハングアップする問題を修正しました。
- ・ I/O 拡張ドロワ (FC5802) が接続されているシステムにおいて、I/O ドロワのリペアが行われたとき、誤って SRC10003144 または 10003154 が記録される問題を修正しました。
- ・ HMC なしで、サービスオーソリティパーティションが指定されたシステムにおいて、サービスプロセッサダンプまたはハイパーバイザダンプ(サービスプロセッサダンプ、システムダンプ、プラットフォームリソースダンプなど)がサービスパーティションに引き渡されない問題を修正しました。この問題は、ダンプが生成された時点で、複数の大きなエラーログまたはインフォーマーショナルログ(2KB 以上)がサービスプロセッサのキューに入っていた場合に発生します。
- ・ HMC なしのシステムで、プログレスコード C1122000 を表示してサービスプロセッサがインターミットにハングする問題を修正しました。この問題は、サービスプロセッサがリセットされ、その後、TTY(シリアルポート)を使用した ASMI メニューでシステムを Power ON したときに発生します。
- ・ HMC で管理されているパーティションが、HMC で“incomplete”状態で表示され、反応しなくなる問題を修正しました。
- ・ I/O ドロワ (FC5802)接続システムにおいて、HMC からの装置電源 ON 操作がタイムアウトし、インフォーマーションレベルの SRC 10009107 が採取される問題を修正しました。この問題は、以下に該当する場合に発生します。
 - ・ ASMI の SPCN firmware update policy が “Enabled”(初期値かつ推奨値)ではなく“Expanded”に設定されている。
 - ・ I/O ドロワの電源ファームウェアを SPCN ケーブル経由でインストールしている。
- ・ 場内テストにより、AMS(Active Memory Sharing)パーティションで mobility 操作が実行されたとき、検出されない潜在的データ破壊が発生する可能性があることがわかりました。この問題は、ファームウェアの不具合により、まれに発生する場合があります。この問題は、場内テスト中に発見されましたが、顧客システムで発生した事例は報告されていません。しかし、この問題が発生する可能性のある EL 340_075 または EL 350_103 以前のファームウェアで稼働しているシステムは、更新することを推奨します。(ファームウェアレベル EL 340_075 より古いレベルは問題ありません。)
- ・ 本体に PCI-E アダプタが搭載され、I/O ドロワ (FC5802)も接続されているサーバにおいて、ページマイグレーション中に SRC : B700F103 が取られシステムがクラッシュする問題を修正しました。
- ・ I/O ドロワ (FC5802)接続システムで、パーティションがページマイグレーション中にクラッシュする問題を修正しました。
- ・ リポートを行わずに、パーティションのマイグレーションを数回行った場合に、SRC BA330002 が採取されてパーティションがクラッシュする問題を修正しました。
- ・ p6 から p7 へのパーティション移動時に AIX のライセンスに関する問題を修正しました。
- ・ HMC がサーバの状態を imcomplete と表示して、SELFHMCMTASK に対して SRC:B7000602 が記録される問題を修正しました。この問題は、システムクラッシュを引き起こす可能性があります。
- ・ ハイパーバイザからサービスプロセッサのイニシャル reset/reload を発行した後で、サービスプロセッサの reset/reload とフェイルオーバが繰り返される問題を修正しました。この問題によってサービスプロセッサとハイパーバイザ間のコミュニケーションが失われます。(SRC:B182951C が採取されます)
- ・ HMC (hardware management console)で管理したシステムで、HMC の GUI 画面上でパーティション

	<p>プロファイルのアダプタ情報を表示する際に、接続されているデバイスがリストされるよう改良しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> FC5802 I/O ドロワが接続されているシステムにおいて、その I/O ドロワの電源 (offline converter assembly:OCA) が 1 台しか動作していなくても電源をオンできるように修正しました。 IPV6 アドレスを使用するシステムにおいて、valid link local アドレスと unique link local アドレスを誤って無効にする問題を修正しました。この問題によって、そのアドレスが割り当てられたポートから、ネットワークブートやネットワークインストールができなくなります。
EL350_071	<p>Impact: Usability Severity: ATT</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> SRC B181E911 が誤って生成され、サービスプロセッサダンプが不必要に採られて ASSIST 通報される問題が修正されました。 HMC で管理されたシステムにおいて、HMC から管理システムが "Incomplete" の状態に見え、多くのサービスプロセッサダンプが生成される問題が修正されました。 F/C 4967 プロセッサを持つ 8203-E4A システムおよび F/C 5577 または 5587 プロセッサを持つ 8204-E8A システムにおいて、SRC B113E504 (SRC の word8=074B001F または 0197001F) を引き起こす問題が修正されました。 別の方法によって IPL 速度が変更されたとき、コントロール (オペレータ) パネルの IPL 速度が同時に更新されるようにファームウェアがエンハンスされました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> F/C 5802 または F/C 5877 I/O ドロワが接続されたシステムにおいて、ドロワをパワーオフしたり、A/C パワーをオフ/オンしたとき、SRCs 10001510, 10001512, 10001520, 10001521 が誤って記録されないようにファームウェアがエンハンスされました。 ライブパーティションモビリティ操作であるパーティションを 8203-E4A または 8204-E8A システムへ移動した後、ソフトウェアライセンス問題を引き起こす問題が修正されました。
EL350_049	<p>Impact: Function Severity: HIPER</p> <p>新フィーチャーと機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 新モデル 8261-E4S をサポートしました。 19 インチ I/O ドロワ F/C 5802 のディスクレスバージョンである F/C 5877 をサポートしました。 USB 接続のリムーバブル HDD を使ったハーフハイト 5.25 インチバックアップデバイスをサポートしました。 混乱を起こさせないプラットホームダンプをサポートしました。 VIOS パーティションで i5/OS マルチパスストレージ I/O をサポートしました。 <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> F/C 5802, 5877 (19 インチラック用), 5803, 5873 (24 インチラック用) の I/O ドロワが接続されたサーバにおいて、AIX 稼働中にシステムがクラッシュする問題が修正されました。 ホストイニシエイティッドリセットによって生成されるサービスプロセッサダンプが記録できない問題が修正されました。 SRC 10009135 に続いて 10009135 が誤って記録される問題が修正されました。これらの SRC は SPCN ループが中断されたことを示し、それからすぐ再確立する。 SRC B1xxB942 のハードウェアコールアウトの改良によりファームウェアがエンハンスされました。 ある稀な条件下で、パーティションがシャットダウン中にハングする問題が修正されました。 12X InfiniBand I/O ドロワのケーブリングエラーをよりよく検出して処理するようにファームウェアがエンハンスされました。 ある稀な条件下で、PCIe スロットのページマイグレーションが発生したとき、システムが無反応となりハングする問題が修正されました。 コンカレントメンテナンス操作中に多くの I/O ループエラーが記録されたとき、コンカレントメンテナンス操作の失敗を繰り返す問題が修正されました。 4GB よりサイズの大きいシステムダンプを処理するためにファームウェアがエンハンスされました。 システムファームウェアリリース EL340 で稼働中のシステムにおいて、プラットフォームがリブートされるまで、メモリの DLPAR 操作に失敗する問題が修正されました。 F/C 5732, 5735, 5769 PCI-E アダプタの性能を改善するために、ファームウェアがエンハンス

新フィーチャーと機能

- ・ モデル E4A, M25, M15 において 4.7GHz プロセッサモジュールをサポートしました。
- ・ モデル E8A, M50, Power 550 サーバにおいて、5.0GHz プロセッサモジュールをサポートしました。
- ・ FC5802 (19 インチ I/O ドロワ), FC5803 (24 インチ I/O ドロワ) をサポートしました。
- ・ このファームウェアレベルがインストールされた後、プラットフォームは 5802, 5803 I/O ドロワをシステムへ追加する前にパワーオフ・オンされなければならない。
- ・ POWER VM アクティブメモリシェアリングをサポートしました。
- ・ このファームウェアレベルがインストールされた後、プラットフォームは POWER VM アクティブメモリシェアリング機能を活性化するためにパワーオフ・オンされなければならない。
- ・ EL340_075 がインストールされて新しい POWER VM アクティブメモリシェアリング機能が活性化された状態でシステムファームウェアを旧レベルにしたいときは、システムファームウェアを旧レベルにする前に、アクティブメモリシェアリングプールを非活性化し、削除しなければならない。IBM はシステムファームウェアの旧レベルを推奨しない。
- ・ システム i/システム p のモデル 520, E8A とモデル 550 を一つに集約することをサポートするために追加されました。
- ・ 8 Gbit ファイバーチャネルアダプタ FC5735 をサポートしました。
- ・ バーチャルタイプデバイスをサポートしました。
- ・ USB フラッシュメモリストレージデバイスをサポートしました。
- ・ サービスプロセッサファームウェアで IPv6 をサポートしました。
- ・ ハイパーバイザで 3 つのタイプのハードウェアパフォーマンスモニタをサポートしました。
- ・ IVM を使用した AIX, Linux のインストールをサポートしました。
- ・ デュアルポート 12x インフィニバンドアダプタ FC5608 をサポートしました。
- ・ 電力や温度管理機能のエンハンスをサポートしました。システムの消費電力が低いとき、電力を節約するためにファンの回転速度を遅くします。
- ・ 動的に電圧や周波数を殺すことを含んだ電力管理エンハンスをサポートしました。
- ・ モデル E8A システムにおいて、サービスプロセッサに CIM 電力計器の使用が追加サポートされました。
- ・ 温度と電力管理デバイスハードウェアを持つシステムにおいて、ソフト電力キャップが追加サポートされました。

全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更

- ・ モデル E8A, M50, Power 550 サーバにおいて、フラッシュメモリの bad bits を回復させるサービスプロセッサの機能を改善するためにファームウェアがエンハンスされました。もし、コレクタブルまたはアンコレクタブルエラーの数が閾値を超えた場合は、システムファームウェアを含むカードにエラーログが記録されます。
- ・ メモリ障害が発生したとき、アンコレクタブルメモリエラーの代わりに TOD オーバーフローエラーがサービスプロセッサに報告される問題が修正されました。
- ・ ファームウェアフラッシュの Temporary 側が不正だったとき、サービスプロセッサが Permanent 側から自動的にブートしない問題が修正されました。この問題が発生した場合、サービスプロセッサは Permanent 側からブートする代わりに停止します。
- ・ 早期パワーオフ警告 (EPOW) タイプ 5 の AIX エラーログエントリの終わりの詳細データが、ゼロの代わりに不正なデータで満たされる問題が修正されました。
- ・ ハイパーバイザの問題で即座に終了する割り込みが上がると通報されるようにファームウェアがエンハンスされました。
- ・ 妥当なネットワークセクタップエラーが見つかったとき、サービスプロセッサに SRC B1A38B24 だけを記録するようにファームウェアがエンハンスされました。この SRC のためのコールアウトもまた改善されました。
- ・ モデル E8A, M50, Power 550 サーバにおいて、フラッシュメモリの bad bits を回復させ、サービスプロセッサを機能させるためにファームウェアがエンハンスされました。コレクタブルエラーまたはアンコレクタブルエラーの数がスレッシユホールドを超えた場合は、システムファームウェアを含むカードにエラーログが記録されます。
- ・ メモリ障害が発生したとき、アンコレクタブルメモリエラーの代わりに TOD オーバーフローエラーがサービスプロセッサに報告される問題が修正されました。
- ・ システム実行中にプロセッサが動的に切り離されたとき、システムがクラッシュするかもしれない問題が修正されました。
- ・ アンカーカードの VPD データ不正が、アンカーカードを交換しなくても、ファームウェアによって修正されるようにファームウェアがエンハンスされました。
- ・ パーティションの移動が移動先のシステムをクラッシュさせる問題が修正されました。
- ・ システムファームウェアのリリース EL340 を実行中のシステムにおいて、パーティション移動が成功した後に、移動元のシステムで VIOS のエラーログの記録が中断される問題が修正されま

した。

- ・ ファームウェア補助ダンプが有効なとき、パーティションを移動すると移動先のシステムが応答しなくなる問題が修正されました。
- ・ SRC BA210012 がログされたとき、通報が発生しないように、ファームウェアがエンハンスされました。
- ・ ASMI の power on/off メニューでデフォルトパーティション環境を"i5/OS"に設定したとき、ブランクになる問題が修正されました。
- ・ モデル E8A, E4A システムにおいて、ASMI の system keyword メニューで RB keyword0 の設定が妨げられる問題を修正しました。
- ・ 電源ボタンを 2 回素早く押したときのように無効な状態変化を識別する SRC B1xx3409 が、プレディクティブの代わりにインフォメーションとして記録され、通報されないようにファームウェアがエンハンスされました。
- ・ 例えシステムのオペレーションに影響がなかったとしてもサービスプロセッサダンプが採られて SRC B181EF88 が記録される問題が修正されました。
- ・ TTY ターミナルから ASMI メニューにアクセスしたとき、いつかのサービスプロセッサエラーログが採られる問題が修正されました。
- ・ モデル E8A において、フラッシュメモリの bad bits を回復させ、サービスプロセッサを機能させるためにファームウェアがエンハンスされました。コレクタブルエラーまたはアンコレクタブルエラーの数がスレッシュホールドを超えた場合は、システムファームウェアを含むカードにエラーログが記録されます。
- ・ マシンチェックの問題ではなく、I/O ロードタイムアウトによってシステムがクラッシュすることからシステムを回復させるためにファームウェアがエンハンスされました。
- ・ メモリ障害が発生したとき、アンコレクタブルメモリエラーの代わりに TOD オーバーフローエラーがサービスプロセッサに報告される問題が修正されました。
- ・ 特定の構成で DLPAR の操作中に HEA ポートが Fail して除去される問題が修正されました。
- ・ ある条件下で、一時的な EEH エラーが発生したとき、PCI-E アダプタの回復から OS が妨害される問題が修正されました。
- ・ パーティション移動に成功した後、サービスプロセッサとハイパーバイザのエラーログが OS に報告される問題が修正されました。この問題は移動したパーティションにだけ影響します。
- ・ ファームウェア補助ダンプが有効なとき、AIX や Linux パーティションの移動に失敗する問題が修正されました。この問題が発生したとき、ターゲットシステムのパーティションが応答しなくなり、回復するためにリポートするかもしれない。

一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更

- ・ 900 以上の定義済み仮想スロットを持つパーティションを、ファームウェア EL320 で稼働中のシステムから EL340 で稼働中のシステムへ移動すると失敗する問題が修正されました。
- ・ 12X I/O アダプタに取り付けられた外部ドロワまたはタワーを持つシステムにおいて、ファームウェアによって外部ドロワまたはタワーのパワーアップが妨げられるように見える問題が修正されました。この問題が発生したとき、SRC xxxx6982 が誤って記録されます。
- ・ ファームウェアリリース EL340 で稼働中のシステムにおいて、プラットフォームダンプのデータが不正になる問題が修正されました。
- ・ 一時的な On/Off メモリ CoD を使用したシステムにおいて、AIX の在庫スカウトのように他のツールでメモリ CoD インタラクションを改善し、請求プロセスを容易にするために、ファームウェアがエンハンスされました。
- ・ 外部の I/O ドロワを持つシステムにおいて、システムが warm リブート中に C700406E のチェックポイントでハングアップする問題が修正されました。
- ・ 仮想ファイバーチャネルディスクを持つシステムにおいて、仮想ファイバーチャネルサーバがそれらのいくつかがりザーブされたと報告した場合、SMS に仮想ファイバーチャネルディスクが表示されない問題が修正されました。
- ・ HMC で管理されたシステムにおいて、ある稀な条件下で SRC B170100A が記録されて通報が飛び、サービスプロセッサダンプが採られる問題が修正されました。
- ・ HMC で管理されていないシステムにおいて、サービスプロセッサがシリアルポートに接続した TTY ターミナルとのコネクションを見失う問題が修正されました。この問題が発生すると、ダンプが採られて、SRC B170100A が記録されます。
- ・ タイムサーバを使用したネットワークにおいて、クライアントシステムが電力を失ったとき、クライアントシステムの日付が 1969 年にリセットされる問題が修正されました。
- ・ Linux パーティションに割り当てられた HEA または HCA を持つシステムにおいて、パーティションに 512GB, 1TB または 1.5TB のメモリが割り当てられているとパーティションがブートしない問題が修正されました。この問題が発生したとき、SRC B700F105 が記録されます。
- ・ 統合された xSeries アダプタ (IXA) を持つシステムにおいて、HMC のシステムプランの生成を

	<ul style="list-style-type: none"> • I/O ドロワが接続されたシステムにおいて、システムがブートされたときに、I/O ドロワのいくつかの I/O スロットが構成されない問題が修正されました。 • 多くのファイバーチャネルディスクを持つシステムにおいて、management services (SMS) ブートファームウェアがブートディスクを検索中に、ファイバーチャネルアダプタのコールアウトを示す SRC BA210003 がログされる問題が修正されました。
EL320_076	<p>Impact: Serviceability Severity: HIPER</p> <p>新機能</p> <ul style="list-style-type: none"> • IPv6 がサポートされました。 • 2TB より大きい論理ボリュームがサポートされました。 • バーチャルイーターネットデバイスのバーチャルスイッチがサポートされました。これには HMC V7 R3.3.0.0 with efix MH01102 以上が必須となります。 <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロセッサがエラー状態でチェックストップまたはシステムクラッシュになる可能性を縮減するために、プロセッサ初期設定が変更されました。 • 特定の条件下で 4-port gigabit Ethernet adapter (F/C 5740) に対して、EEH(Enhanced Error Handling)のエラーが大量に採取され問題が修正されました。 • サービスプロセッサの/tmp ディレクトリが満杯になりメモリ領域が不足する問題が修正されました。この問題が発生するとサービスプロセッサは通常リセット/リロードされます。これは SRC B1817201 が採取される原因の一つになります • コントロールパネル機能 02 で” next IPL speed” または” next IPL side” の設定に失敗する問題が修正されました。 • capacity-on-demand (COD)データがアンカー (VPD) カードから読み込めないフォーマットで検索される問題が修正されました。 • 特定の I/O アダプタで enhanced error handling (EEH)に失敗する問題が修正されました。 • スローモードブート中にシステムがコントロール (オペレータ) パネルに C10090B8 のコードを表示して停止したように見える問題が修正されました。 • ハードウェアエラー後にファブリックバスからプロセッサロックが deconfigure される問題が修正されました。 • L2 deconfiguration オプションがサポートされていないシステムで、advanced system management interface (ASMI)に L2 deconfiguration オプションが表示される問題が修正されました。 • GX adapter slot reservation オプションがサポートされていないシステムで、advanced system management interface (ASMI)に GX adapter slot reservation オプションが表示される問題が修正されました。 • 潜在的なアダプタの-T#サフィックスを修正する代わりに-Cx サフィックスが埋め込まれた特定のスロットで、enhanced error handling (EEH)エラーが報告される問題が修正されました。これは HMC の System Planning tool に影響を与えました。 • ”iSCSI” と ”network1” の別名を SMS メニューで不正に生成する問題が修正されました。これはそのデバイスからのシステムまたはパーティションのブートを妨害します。 • 以下のインフォメーションメッセージを誤って OS コンソールへ送る問題が修正されました。 subq[5][0] destination address is 0!!! Check whether the subq is needed. If it is, allocate MEM. • パーティションマイグレーション中に AIX コマンドの lsvpd がハングする問題が修正されました • AIX インストール中に iSCSI ブートの後の”Welcome to AIX” パナーでシステムまたはパーティションがハングする問題が修正されました。 • 特定の条件下で iSCSI ログインに失敗する問題が修正されました。この障害発生時、以下のようなメッセージがコンソールに送られます。 iscsiFailed to LOGIN to target, rc = 1 failed to login. could not open target 0x9034751 :system04 for r/w, aborting... tcpOPEN: iscsi open failed !BA012010 ! • 634952: オンボード USB ポートに接続したデバイスのロケーションコードが重複したポートサフィックスを持つ問題が修正されました。例えばこの問題発生時、デバイスのロケーションコードは以下のようになります。 /usb-scsci@1 U789D.001.DQDGARW-P1-T2-T2-L1

	<p>正しいロケーションコードは以下のようになります。</p> <pre>/usb-scsi@1 U789D.001.DQD GARW-P1-T2-L1</pre> <ul style="list-style-type: none"> ping テスト失敗したとき、“DEFAULT CATCH!”というメッセージとともに SMS メニューからオープン F/W プロンプトにドロップする問題が修正されました。 OS が NVRAM のブートデバイスリスト設定から妨害される問題が修正されました。 IPL 毎に 20-25 個のインフォメーション SRC B7005300 を採取し、エラーログを満杯にする問題が修正されました。 ASMI クライアントが突然クローズされたとき、またはネットワーク障害によりクライアントと ASMI が切断されたとき、SRC B181EF88 でサービスプロセッサダンプが採取される問題が修正されました。 メモリ DIMM の信頼性を向上するためにファームウェアをエンハンスしました。 予報的な SRCs B18138B0, B1813862, or B1813882 をインフォメーションとしてログ採取するようにファームウェアを変更しました。 <p>HMC によって管理されるシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> パーティションマイグレーションに失敗する原因となるハイパーバイザの問題が修正されました。 コンカレントファームウェアインストール中に SRC BA00E840 が採取されてハングする問題が修正されました。この問題は特定の条件下で SRC BA00E840 が採取されてパーティションマイグレーションがハングする原因にもなります。この SRC はこのファームウェアレベルがインストールされていると採取されてコールホームされますが、無視して構いません。インストール後に SRC は採取されません。 システムブート後、すぐにパーティションを IPL するとシステム停止する問題が修正されました。この問題はパーティションが“autostart”に設定されている場合に発生することがあります。この障害は大容量メモリのシステムで見られる特徴があり、エラー発生時に通常 SRC B181D138 が採取されます。 EnergyScale(TM) technology を使用したシステムで、サービスプロセッサエラーログに Power Save mode に関するステータス、ログ、エラー情報を入れるようにエンハンスしました。 EnergyScale(TM) technology を使用したシステムで、不正確に電力が計算される問題が修正されました。 HMC から HEA 1 Gbps ポートを“100 Mbps/full duplex”に設定できない問題が修正されました。この事象が発生したとき、HMC 上にエラーメッセージは表示されませんが、設定は有効になります。 HMC に表示されるセカンドポートグループの HEA ロジカルポート情報の中の MAC アドレスが不正なアドレスになる問題が修正されました。 7314-G30 が接続されたシステムで、InfiniBand I/O デバイスがパケットをドロップし、回復不可能なエラーになる問題が修正されました。 7314-G30 が接続されたシステムで、ドロワが InfiniBand loop に関連する稼働時交換に失敗する問題が修正されました。 7314-G30 が接続されたシステムで、冗長ケーブルループ内の InfiniBand ケーブルが切断されているときに、パーティションが応答不可になる問題が修正されました。
EL320_040	新規リリース

株式会社 日立製作所 エンタープライズサーバ事業部 2015 年 8 月

(c) Hitachi, Ltd. 2015, All rights reserved.